	Ⅰ．成長と栄養		Ⅱ．生理学と内分泌学		Ⅲ．病理学		Ⅳ．薬理学と毒物学	Ⅴ．心理学、社会学、人類学	Ⅵ．技術	Ⅶ．臨床的技術				
講義名	A. 乳児	B. 母体	A. 乳汁分泌の生理学	B. 内分泌学	A. 乳児	B. 母体				A. 器具と技術	B. 教育とコミュニケーション	C. 倫理的及び法的問題	D. 研究	E. 公衆衛生と支援運動
母乳育児がうまくいく10のステップと医療者の役割	—	3．母乳の成分	3．乳汁分泌の誘発	—	—	—	—	F. 支援ネットワークの見つけ方, I. 母親と赤ちゃんとの関係	A. 効果的な乳汁移行（医学的適応のある補足を含む）, B. 生後１時間, C. 吸着（吸い付き方）, E. 搾乳（例：ポンプ、手による搾乳、乳汁の漏れ）, H. 肌と肌とのふれあい（カンガルーケア）	1．授乳用デバイス（例：チューブ、カップ、シリンジ、人工乳首、パラダイ（インドの授乳用カップ））, 4．おしゃぶり, 5．搾乳器	4．母親と家族の教育, 5．専門家、ピアサポーター、学生の教育, 6．精神的サポート, 7．エンパワーメント, 8．グループサポート	2．臨床能力, 5．WHOコード一啓発と政策	1．科学的根拠に基づく実践の適用, 2．研究結果の評価と解釈	1．赤ちゃんにやさしい病院運動（BFHI）の啓発, 2．母乳代用品のマーケティングに関する国際基準（WHOコード）順守の啓発, 3．保健医療制度内におけるお母さんと赤ちゃんのためのアドボカシー
医師による母乳育児支援としての時系列：この時期に何をすればいい？（出生前～2か月健診）	13．排便と排尿	—	3．乳汁分泌の誘発	1．乳汁産生におけるホルモンの影響	—	—	—	I. 母親と赤ちゃんとの関係, J. 安全な睡眠	A. 効果的な乳汁移行（医学的適応のある補足を含む）, B. 生後１時間, C. 吸着（吸い付き方）, D. 供給量の管理, E. 搾乳（例：ポンプ、手による搾乳、乳汁の漏れ）, F. 授乳時の母子の姿勢（ハンズ-オフ）, H. 肌と肌とのふれあい（カンガルーケア）	—	7．エンパワーメント	—	—	—
医師による母乳育児支援としての時系列:この時期に何をすればいい?(2ヶ月健診から 1000days)	1．月齢別哺乳行動, 4．世界保健機関（WHO）による補完食の導入のためのガイドライン, 8．栄養所要量ー早産児を含む, 11．正期産児の発達と成長	—	—	—	—	—	—	K. 卒乳	—	—	—	—	—	—
分娩における医学的介入、母体合併症の母乳育児への影響	5．低出生体重と超低出生体重	—	2．不妊の問題, 3．乳汁分泌の誘発, 5．多胎（例：双胎、品胎）	1．乳汁産生におけるホルモンの影響, 2．糖尿病, 3．母体の代謝内分泌疾患（例：下垂体、甲状腺、多嚢胞性卵巣症候群）, 4．母体の自己免疫疾患, 5．新生児の低血糖	7．在胎不当過小（SGA）、在胎不当過大（LGA）	4．母体の慢性疾患, 11．子癇前症／妊娠高血圧症候群	D. 薬物（例：処方薬、市販薬、診断と治療の処置薬、陣痛と出産の促進剤）, F. 避妊法	D. 仕事、職場に復帰する、または就職する, G. 母親のメンタルヘルス	A. 効果的な乳汁移行（医学的適応のある補足を含む）, B. 生後１時間, C. 吸着（吸い付き方）, E. 搾乳（例：ポンプ、手による搾乳、乳汁の漏れ）, H. 肌と肌とのふれあい（カンガルーケア）	—	1．積極的傾聴, 2．予備的ガイダンス, 3．ケア計画の作成と共有, 4．母親と家族の教育, 5．専門家、ピアサポーター、学生の教育, 6．精神的サポート, 7．エンパワーメント	—	1．科学的根拠に基づく実践の適用	—
母乳と感染症（CMV、GBS、HTLV—1について）	5．低出生体重と超低出生体重	—	—	—	9．垂直感染（例：HIV、B型肝炎）	4．母体の慢性疾患	—	I. 母親と赤ちゃんとの関係	—	—	2．予備的ガイダンス	—	1．科学的根拠に基づく実践の適用	—
授乳とくすり	—	3．母乳の成分, 4．母体の解剖学的問題	—	—	—	3．母体の急性疾患（例：感染性、心臓性、代謝性）, 4．母体の慢性疾患, 5．母体の障害（身体的、神経学的）, 7．乳汁産生（不足または過剰）, 8．乳頭と乳房の状態	A. アルコール, B. ニコチンとたばこ, D. 薬物（例：処方薬、市販薬、診断と治療の処置薬、陣痛と出産の促進剤）	G. 母親のメンタルヘルス	—	—	4．母親と家族の教育, 6．精神的サポート	—	—	—
母乳育児と早産児の腸内細菌叢	5．低出生体重と超低出生体重	3．母乳の成分	—	—	6．乳児の神経学的障害, 8．乳児急性疾患（感染症、心臓性、代謝性）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
母乳育児支援でのコミュニケーション・スキル～親と家族への支援	—	—	3．乳汁分泌の誘発	1．乳汁産生におけるホルモンの影響	—	7．乳汁産生（不足または過剰）	G. 乳汁分泌促進薬	A. 親になること, E. 家族のライフスタイル, F. 支援ネットワークの見つけ方, G. 母親のメンタルヘルス, H. 母親の心理的問題／認知の問題, I. 母親と赤ちゃんとの関係, L. 文化的適応力	A. 効果的な乳汁移行（医学的適応のある補足を含む）, C. 吸着（吸い付き方）, D. 供給量の管理, E. 搾乳（例：ポンプ、手による搾乳、乳汁の漏れ）, F. 授乳時の母子の姿勢（ハンズ-オフ）, G. 哺乳拒否、哺乳びん拒否, H. 肌と肌とのふれあい（カンガルーケア）	2．搾母乳の保存と取り扱い方	1．積極的傾聴, 4．母親と家族の教育, 6．精神的サポート, 7．エンパワーメント	—	1．科学的根拠に基づく実践の適用	—